

2019年度 通期：2019年4月～2020年3月

決算説明資料

(ハイライト情報)

2020年5月19日

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。本資料において当社の将来の内容・業績を保証するものではありません。

蝶理株式会社

決算概要のポイント

- ・ 前期比：前期比減収も、主要段階利益(営業利益・経常利益・当期純利益)は増益
- ・ 当第3四半期累計連結業績は堅調(連結経常利益：前年同期比9%増益)に推移するも、当年度終盤に発生した新型コロナウイルスの感染拡大による影響を受け、当第4四半期連結業績は伸び悩み
- ・ 中期経営計画「Chori Innovation Plan2019」の利益目標を達成

業績概要

- ・ 経常利益⇒ 4期連続最高益を更新
(16年度:69.7億円→17年度:75.0億円→18年度:86.6億円
→19年度:86.9億円(中期経営計画 85.0億円))
- ・ 親会社株主に帰属する当期純利益⇒ 2期連続最高益を更新
(18年度:56.3億円→19年度:61.0億円(中期経営計画 55.0億円))

収益性

- ・ ROA(経常利益ベース)・ROE(当期純利益ベース)ともに、前期比向上
ROA：7.5%(前期比+0.2%) (中期経営計画 7.5%)
ROE：11.0%(前期比+0.3%) (中期経営計画 10%以上)

財務基盤

- ・ 自己資本比率 50.0% 高水準を維持

株主還元

- ・ 期末配当を31円→32円へ増配、年間配当63円へ(18年度60円より+3円増配)
⇒ 7期連続増配

新中期経営計画（期間：2020年度~2022年度）を5月下旬に発表予定

業績内容（前期比）

POINT

- 売上高は、化学品事業の有機化学品分野の市況低迷等により、前期比減収
- 経常利益は、繊維事業における海外素材分野の堅調な推移及び国内衣料分野の収益性の改善等により、前期比増益
- 当期純利益は、特別利益計上等もあり、大幅増益

(単位：億円)

	18年度	19年度	増減額	増減率
売上高	3,565	3,294	-272	-7.6%
売上総利益	286	283	-3	-1.0%
販売費及び一般管理費	205	201	-4	-2.2%
営業利益	80	82	+2	+2.1%
経常利益	87	87	+0	+0.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	56	61	+5	+8.4%

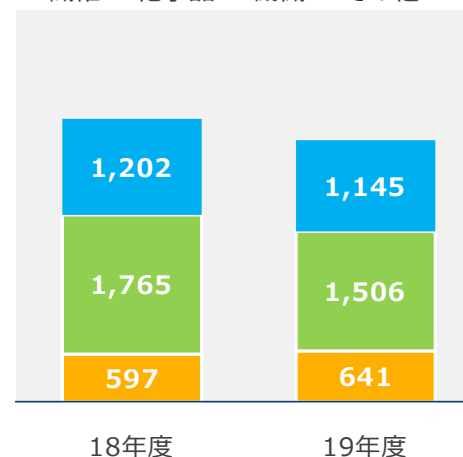
セグメント業績

売上高

(単位：億円)

	18年度	19年度	増減額
繊維	1,202	1,145	-57
化学品	1,765	1,506	-259
機械	597	641	+44
その他	1	1	-0
合計	3,565	3,294	-272

■ 繊維 ■ 化学品 ■ 機械 ■ その他



繊維…減収増益

堅調 海外素材

改善 国内衣料

化学品…減収減益

堅調 ファインケミカル

低調 有機化学品

機械…増収増益

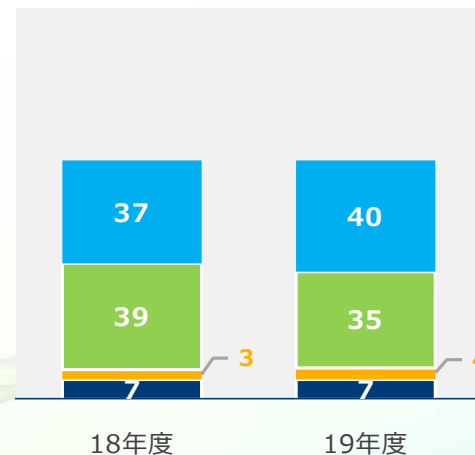
堅調 車輛

経常利益

(単位：億円)

	18年度	19年度	増減額
繊維	37	40	+3
化学品	39	35	-4
機械	3	4	+1
その他	7	7	-0
合計	87	87	+0

■ 繊維 ■ 化学品 ■ 機械 ■ その他



※「その他」には調整額を含んでおります。

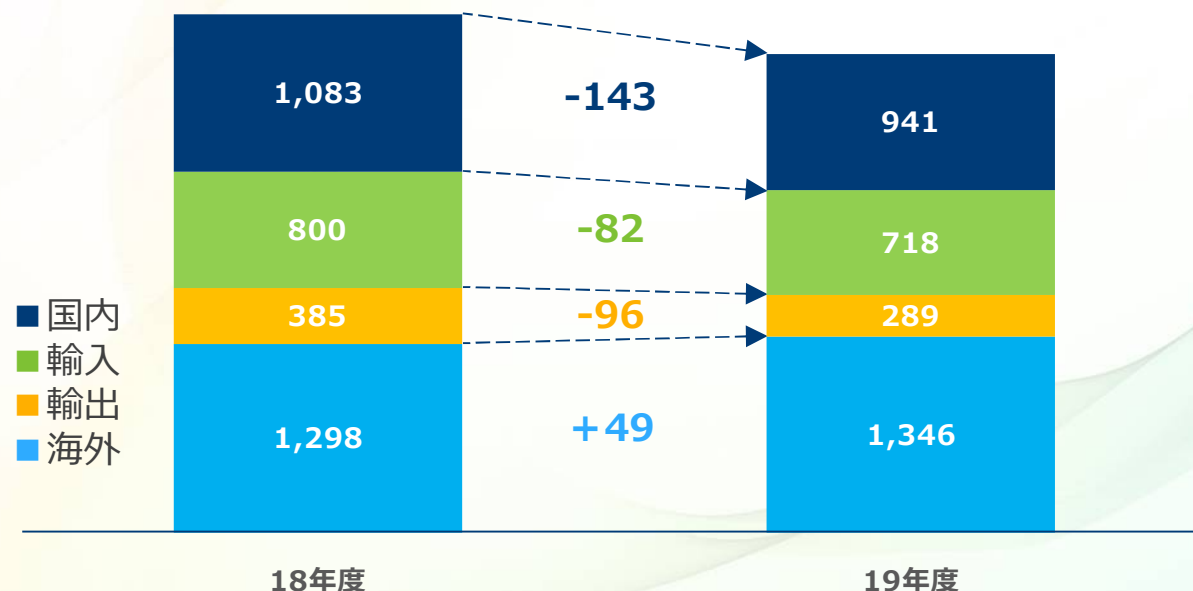
形態別売上高

POINT

- **貿易比率** : 71.4% (前期比+1.8%)
- **国内売上高** : 国内化学品子会社を中心に減収
- **海外売上高** : 繊維事業・機械事業を中心に増収

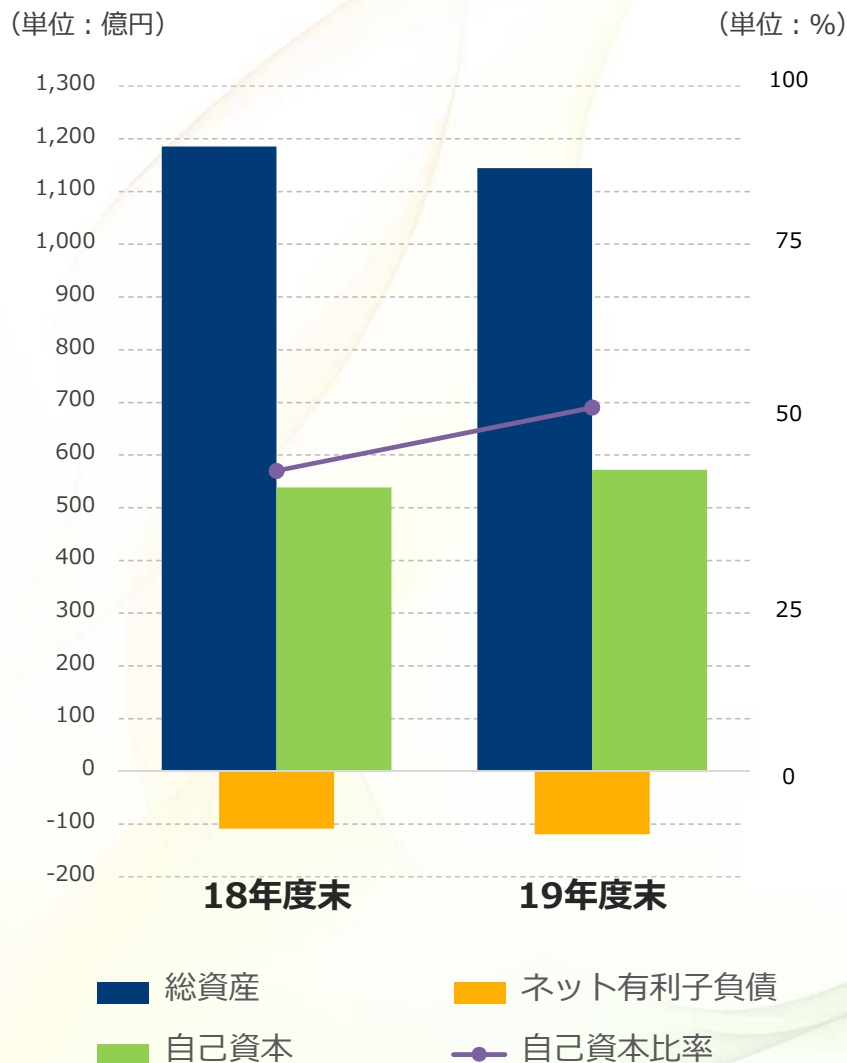
売上高	3,565	売上高	3,294	売上高	-272
貿易取引	2,482	貿易取引	2,353	貿易取引	-129
(貿易比率)	(69.6%)	(貿易比率)	(71.4%)	(貿易比率)	(+1.8%)

(単位：億円)



国内売上高	日本国内の売上額
輸入売上高	海外から日本国内への売上額
輸出売上高	日本国内から海外への売上額
海外売上高	海外取引の売上額

財政状態



財務健全性

(単位：億円)

	18年度末	19年度末	増減
総資産	1,185	1,144	-41
ネット有利子負債	-109	-120	-11
自己資本	538	572	+34
自己資本比率	45.4%	50.0%	+4.6%

収益性・資本効率

	18年度末	19年度末	増減
ROA (経常利益ベース)	7.3%	7.5%	+0.2%
ROA (当期純利益ベース)	4.7%	5.2%	+0.5%
ROE (当期純利益ベース)	10.7%	11.0%	+0.3%

キャッシュ・フローの状況

POINT

- 営業CF : 増益効果等により29億円
- 財務CF : 配当金の支払等より-19億円
- キャッシュ・フロー合計は9億円

(単位：億円)

	18年度	19年度	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	32	29	-3
投資活動によるキャッシュ・フロー	-14	0	+14
財務活動によるキャッシュ・フロー	-44	-19	+25
換算差額	-2	-0	+1
キャッシュ・フロー合計	-27	9	+37
現金及び現金同等物の期末残高	120	130	+9

2020年度業績予想

POINT

- 新型コロナウイルス感染拡大が世界各地で続き、国内外経済に大きく影響を及ぼしており、先行きは不透明、その収束の時期は見通せない状況

(単位：億円)

	19年度 実績	20年度 予想	増減額	増減率
売上高	3,294	2,000	-1,294	-39.3%
営業利益	82	67	-15	-18.5%
経常利益	87	70	-17	-19.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	61	46	-15	-24.6%

売上高は、2020年度より適用予定の企業会計基準第29号「収益認識に関する会計基準」及び企業会計基準適用指針第30号「収益認識に関する会計基準の適用指針」を適用した金額となっております。

2019年度配当金

|| 配当の基本方針

成長戦略への投資資金の確保に留意しつつ、機動的な利益還元と経営・財務の安定性確保の観点から親会社株主に帰属する当期純利益の水準に応じた業績連動型配当を実施。

|| 配当の基本方針

- ・ 配当方針： 配当性向25%以上
- ・ 2020年度から配当性向を25%以上から『30%以上』へ引き上げ。

|| 1株当たり配当金推移(年間)

■ 配当金 () 配当性向

● EPS： 1株当たり当期純利益



あなたの夢に挑戦します。

蝶理株式会社